

平成 29 年度第 3 回 幹事会議事録

日時：2017 年 10 月 20 日（水）14:00～17:00

場所：関西労災病院

[出席者]

井上智奈美（三菱京）、寺澤 裕子（関労災）
増田 徹（藍野大）、吉原 理恵（済中津）

[報告事項]

■事務局（総務）

1. 第 43 回総会報告の送付

9 月 11 日（月）付けで、電子リソースのコンソーシアム価格の提案書を会員に送付した。参加企業は医学書院、EBSCO、サンメディア。

2. ニュースレター

9 月 15 日（金）ニュースレター No. 42 を近図雲上にアップした。

3. 第 34 回医学情報サービス研究大会

8 月 26 日（土）、27 日（日）の 2 日間にわたり、関西医科大学にて開催され、盛会のうちに無事終了することができた。病図協からも実行委員やサポーターとしての協力や参加を、たくさんの会員にしていたいただいた。

■事務局（会計）

1. 支払状況 8 月末

年会費（病図協 17-07 号 5 月 10 日）は、113 機関中 110 機関が支払い済み。1 機関は退会（高槻赤十字病院）、残り 2 機関へは再請求した。

購読会費 35 巻（2016 年 9 月 12 日 病図協 16-20 号）は、発行後に後払い 3 か所へ請求する。

2. 会計監査

例年と同様 2 月末締切、3 月上旬に監査を行う予定。

■研修部

1. 2017 年三図協共催シンポジウム

日 程：2017 年 10 月 24 日（火）

13:30～17:00

場 所：大阪大学 生命科学図書館 4F AV
ホール

テーマ：「教え方」を学ぶ：医学系図書館における
インストラクショナルデザイン
活用

参加申込は 10 月 6 日（金）をもって締め切り、
医図協 22 名、薬図協 5 名、病図協 6 名、近畿イ
ニシア 3 名の計 36 名の参加申込があった。

2. 第 141 回研修会

日 程：2017 年 12 月 9 日（土）

テーマ案：図書館システム

プログラム案：

- ① FileMaker 三菱京都病院 井上 氏
- ② Access 石切生喜病院 松尾 氏
- ③ Excel 大津赤十字病院 深井 氏
- ④ 司書アシスト ナレッジワイヤ 大西 氏
- ⑤ 図書館管理システム

鳥取県立中央病院 中川 氏
図書館システムについての基調となる講義を、
元奈良大学図書館の磯野肇氏に依頼、現在回答
待ち。

3. 総会、事例報告

寺澤氏、藤原氏、安井氏、村上氏、松尾氏で
検討。

■会誌編集部

1. 原稿の状況

35 巻 2 号は 3 校待ち。36 巻 1 号は入稿準備中。
また、未着原稿分を督促中。

2. MIS33 での販売

『系統的文献検索概説』を 16 冊販売した。

3. 36 巻 2 号の特集について

テーマを「気軽に始める 図書館管理システム
（仮）」とし、研修会と連動した内容を検討する。

■統計調査部

1. 平成 29 年度第 2 回統計調査部会

2017 年 7 月 11 日（火）17:30～18:30 に、済
生会中津病院にて開催。

2. 調査用紙修正点

調査用紙の変更点は下記のとおり。

- ・項目が未入力でも合計が0になるため自動集計をやめる。
- ・図書や雑誌、視聴覚資料欄などに合計欄を設ける。
- ・製品と費用に電子ブックの項目を設ける。

3. スケジュール

- 7月：部会を開き調査用紙の検討を行う。
- 10月：実施、締切後に督促などを行う。集計。
- 3月：報告書を総会までに近図雲書庫へアップロード。
- 5月：実データを公開可機関へ郵送。

■ホームページWG

1. 利用調査後の郵送通知

調査までに退会（1機関）、回答あり（2機関）を除外した20アカウントへ10月4日に利用調査メールを送信。その後、10月5日に18機関に郵送で通知した（アカウント重複2機関）。

10月11日現在、18機関中7機関から回答があった。

2. 契約更新費用

293,376円を支出した。

3. 掲示板への迷惑書き込み

8月10日に書き込まれていた。8月31日に削除した。

■目録サポートチーム

1. KITOCatに代わる新Web目録構築

業者との打合せを9月13日（水）と9月20日（水）に行い、進行状況を確認した。また、医中誌やPubMedのデータを呼び出してくる仕組みやSFXとの互換について、ユサコの天本氏に情報をいただいた。医中誌からは、新目録にデータを使用する旨の了解を得ている。

10月3日（火）に新Web目録に関する寺澤氏提案の参考資料を送付。

次回の打合せ予定は、10月末（26、30、31日）を予定している。

2. KITOCatに代わる新Web目録の名称

10月に行われた東海目録の幹事会で、新Web目録に“KITOCat”の名称を使用する許可が得られなかった。それに先立ち、KITOCat名称の継続使用を春日井氏に打診した際、KITOCatの名称を決める際の候補から選んではどうかという提案があった。今後名称決定への手続きも決める必要がある。(1)～(3)の以前よりの候補と、(4)寺澤氏より提案のあった、co-imo（コイモ）小さな医学雑誌所蔵目録、を検討した。

結果、KITO-catの後継はco-imo（コイモ）とする。

- (1) MELWcat（メルーキャット）
- (2) HosLib cat（ホスリブキャット）
- (3) MJ Cat（エムジェーキャット）
- (4) co-imo（コイモ）小規模医療系図書館を中心とするウェブ雑誌目録

3. 新Web目録への移行スケジュールの会員への周知

移行スケジュールにメドがたったわけではないが、データ移行に関して会員が不安を抱いているとの声があり、9月19日（火）近図雲上で、データ移行は業者が行うということとともに、アルファミクスの提示したスケジュール案をアップした。スケジュール案は以下の通り

- 9月～10月 開発（基本機能）
- 11月～12月 開発（追加機能）
- 11月～12月 システムテスト
- 2月～3月 会員機関確認・練習期間
- 3月 データ移行
- 4月 本番稼動

4. KITOCatのデータ更新

NACSIS個別版データを利用したKITOCatのデータ更新について、東海目録から病図協の分の申請も行うとの申し出があり、受諾した。病図協からは2機関が申請を依頼した。

■リポトリ部

1. 会誌「病院図書室」のKINTORE掲載につ

いて

作業が遅れている。なるべく早く公開する。一括登録のマニュアル作成と合わせて作業を行う予定。

2. リポジトリ参加機関数

2017年4月現在14機関（変更なし）。

[協議・決定事項]

■事務局（総務）

1. 現行の会長制度の存続について

初期に行われていた病院の院長先生と密接にかかわってアドバイスを受け、協議会活動の運営を進めていくという形がもはや成り立っておらず、形式だけの会長に就任していただくのに苦慮する状況が続いている。日本病院ライブラリー協会は、会長が図書館員であり、日本看護図書館協会も総会において僅差で否決されたが、図書館員の会長にしようとする議決が行われた。当協議会においても次回総会の議題とし、組織図、会則、規約等の確認、改変など見直しを行う。

■会誌編集部

1. 発行遅れの打開策

発行をしばらく年1回にする。37巻1号より年1回発行に変更する案を次回総会で諮る。

■リポジトリ部

1. リポジトリ登録補助（6/6～9/29）

京都市立病院から12月発行予定の紀要について登録補助の申請があった。

助成内容は、メタデータ作成と登録補助。依頼誌の発行までに、初期設定（機関コミュニティのレイアウト、成果の投稿先作成）を行う予定。

上記作業の見積もりは発刊後に行い、次回幹事会にて諮る。

2. DSpace から JAIRO Cloud への移行説明会

KINTORE の移行を検討するため、11月24日、1月19日の説明会のいずれかに増田氏を派遣する。